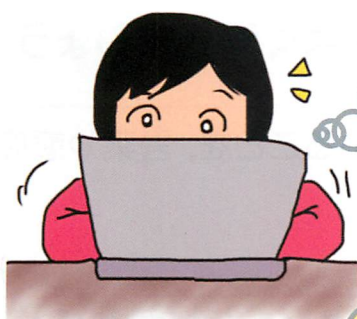


～ 保護者の皆さんへ ～

京都府内で未成年者の**大麻※1**をはじめとする **薬物乱用の蔓延が危惧**されています。

※1 大麻はチョコ、ハッパ、ハシッシュなどの隠語で呼ばれている例があります。



えっ！
大麻はタバコより
害が少ないって
ホントかなあ？

☆インターネット等で大麻はタバコ
より害が少ないという間違った
情報が流れています。

★**大麻はタバコより有害※2で、
依存性がある危険な違法薬物
です。**

※2 大麻はタバコより発がん性物質が約20倍
含まれていると言われています。

間違いです！



こんなモノを持ってい
たら**要注意!!**
(大麻を吸うと「甘くさ
い臭い」がします)

大麻を吸うと、次のような急性症状が出ます！

- ◇不安、錯乱
- ◇心臓がドキドキする
- ◇のどが渇く
- ◇眼が赤くなる
- ◇まっすぐに歩けない
- ◇食欲増進
- ◇手で物が上手につかめない など

**また、吸い続けると、体にいろいろな影響が出る
おそれがあります！**

- ◇いつも体がだるい
- ◇頭が痛い
- ◇のどが痛い
- ◇記憶力の低下
- ◇肺がん
- ◇不妊症
- ◇パニック症状
- ◇うつ症状 など



★**喫煙が大麻などの薬物乱用のきっかけに
なることがあります。**

☆**お子さんの喫煙を見過ごしていませんか？
違法薬物からお子さんを守るためにも、
喫煙の危険性について話し合しましょう。**

少年相談窓口

◇ヤングテレホン 075-551-7500

◇メール相談「パソコン」 <http://www.pref.kyoto.jp/fukei/>
「ケータイ」 <http://www.kyotofukei-syonen.jp/i>



京都府警察本部・京都府教育委員会・京都市教育委員会

●薬物から子どもを守る十か条●

ご家庭においても、お子さんの様子をしっかりと気に留めていただき、少しでも心配に思われることがありましたら、学校や少年相談窓口(裏面参照)にご相談ください。

1 飲酒・喫煙・薬物について子どもと話し合いましょう

子どもとよく話し合い、「誰でもやっている」「害が少ない」という誤った認識を変えましょう。

2 子どもの話をよく聞きましょう

話を聞こうとしていることを、言葉や態度で示しましょう。

3 子どもが話しやすい雰囲気を作りましょう

努力や成果をほめてあげましょう。
子ども自身を攻撃せずに、誤った行動を正すようにしましょう。

4 勇気を出して「NO」と言うことの大切さを伝えましょう

友人に引きずられることなく、勇気を出して「NO」と言うことの大切さを伝えましょう。

5 保護者が模範となるよう努めましょう

子どもは、保護者の言動を必ず見ています。
保護者の言動は、子どもの生活に強い影響を与えます。

6 子どもが友人から圧力を受けても支えましょう

友人からの悪い誘いに「NO」と返事をする
ことで、プレッシャーがかかることがあります。
力強く支えましょう。

7 家庭内で大人のルールを決めましょう

飲酒、喫煙等において、「子どもの手の届くところに置かない」「子どもに勧めない」等、
家庭内での大人のルールを徹底しましょう。

8 一緒に子どもが打ち込めるものを探しましょう

飲酒や喫煙、更に薬物への誘惑を絶ち、興味本位で手を染めることがないよう、子どもが夢や希望をもって打ち込み、全力で取り組める環境づくりに努めましょう。

9 他の保護者と協力できるようにしましょう

子どもの友人の保護者と協力し、子どもの様子に変わったことがあれば、お互いに連絡・情報交換できる関係を築きましょう。

10 飲酒・喫煙・薬物について子どもと一緒に学習しましょう

保護者も、一緒に飲酒・喫煙・薬物の知識を深めましょう。